

## ～組合員に喜ばれるオークションを目指して～ 補助金を活用し、新たなオークションシステムを開発！

中古自動車販売店が加盟する山梨県中古自動車販売商工組合（日向東宏理事長 68 社）は、全国中小企業団体中央会が実施する令和 4 年度中小企業組合等課題対応支援事業を活用し「オートオークション事業における他会場との連携拡張」をテーマにオートオークション（組合員同士で各社が求める中古自動車を売買する競り市場、以下「AA」）のシステム開発を行った。

中古自動車業界では、コロナ禍による新車出荷台数の低迷により中古車市場に流れる車両が減少していた。また、このことにより中古車両を取り扱うディーラーや大手企業との車両確保競争が激化するとともに、組合で行う AA 事業への出品車両も減少し、組合員及び組合の経営を圧迫していた。

そこで、組合では AA 事業の出品車両を確保するため AA システムを新たに開発することとした。また、新システムでは組合員のニーズである出品手続きの簡素化にも併せて取り組んだ。

新システムでは、本県以外のオークション会場をインターネットで繋ぐことで本県と他県との相互出品が可能となり AA 出品台数の増加を図ることができる。また、これまで出品手続きは紙ベースで行っていたものをデジタル化することで組合

### 山梨県中古自動車販売商工組合

員の利便性を向上するとともに、車両情報を中古車情報誌の掲載情報と共有化することで組合員はより多くの販売ツールと連携できる仕組みを構築した。そのほか、インボイス制度への対応や車両ナンバーのアルファベット表記にも対応するなど、国などの制度改正にも対応したシステムとした。



組合員が集うオートオークション

本事業を終えて、日向理事長は「今回の新システムにより、AA 出品車両の増加を見込むことができ、これにより組合員はより多くの車両から消費者が求める車両を選ぶことができるようになる。AA 事業の利便性も向上し、事業のさらなる活性化も期待できる。今後は新システムを最大限に活用し、これからも組合員に求められ喜ばれる AA 事業を実施していきたい。」と抱負を語った。

